

「ほっかいどう学」の学びを考えるシンポジウム ～Let's learn Hokkaido～

平成28年3月、「世界の北海道」をキャッチフレーズとする第8期北海道総合開発計画が閣議決定されました。同計画は、本格的な人口減少時代にあっては、自ら考え地域づくりに取り組む地域の担い手を育成、確保することが重要であるとし、地域に関する理解と愛着を深めるために「ほっかいどう学」を促進することが盛り込まれました。

「ほっかいどう学」とは、子どもから大人まで、より多くの人々が地域づくりに関心を持つ契機を創出するため、自然や歴史、文化、環境等の北海道の魅力や個性について幅広く学ぶ取組のことで

本シンポジウムは、有識者の方々による基調講演や事例報告のほか、多様な学びの場への「ほっかいどう学」の展開に向けてご提言をいただくパネルディスカッションを通じて、第8期北海道総合開発計画に掲げられた「ほっかいどう学」の更なる推進を図り、地域づくり人材の発掘・育成に資することを目的として開催するものです。

今後とも、関係機関等と連携を図りながら、本シンポジウムにおいて有識者の方々からいただいたご意見やご提言を踏まえ、国民・道民が分かりやすく学ぶことができる「ほっかいどう学」の展開に向け取り組んでまいります。

開催日時・場所

- ◆平成30年3月14日（水）
13:30～16:30（開場12:30）
- ◆札幌エルプラザ 3F ホール
札幌市男女共同参画センター
札幌市北区北8条西3丁目

入場無料
定員150名

申込締切
3月9日（金）

プログラム

- ◆事務局報告 「ほっかいどう学」の概要、取組状況等について
遠藤 昭彦 北海道開発局開発監理部開発調査官
- ◆基調講演 北前船と北海道～北海道のルーツと北前船の遺産～
高野 宏康氏 小樽商科大学グローバル戦略推進センター研究支援部門
地域経済研究部学術研究員
- ◆事例報告 札幌らしさを学ぶ小学校における雪学習の推進
～雪のカリキュラム・マネジメント～
朝倉 一民氏 札幌市立屯田北小学校教務主任
- ◆パネルディスカッション 多様な学びの場への「ほっかいどう学」の可能性について
コーディネーター：草苺 健氏 一般財団法人北海道開発協会 開発調査総合研究所 理事・所長
パネリスト：朝倉 一民氏 札幌市立屯田北小学校教務主任
新保 元康氏 札幌市立屯田小学校校長
高野 宏康氏 小樽商科大学グローバル戦略推進センター
研究支援部門地域経済研究部学術研究員
吉岡 宏高氏 札幌国際大学観光学部国際観光学科教授、
NPO法人炭鉱の記憶推進事業団理事長



※本シンポジウムは、公益社団法人土木学会の継続教育（CPD）プログラムに認定されています。（認定番号：JSCE18-0076）
受講証明が必要な方は、身分証明書による本人確認を行いますので、当日は顔写真入りの身分証明書をご持参ください。

■主催：国土交通省北海道開発局、一般財団法人北海道開発協会

■後援：北海道、北海道教育委員会、札幌市教育委員会、北海道社会科教育連盟、札幌市社会科教育連盟、公益社団法人土木学会北海道支部

「ほっかいどう学」シンポジウム参加申込書

FAX:011-726-2352
E-mail:hkd-ky-hokkaidogaku@mlit.go.jp

所属機関		役職	
氏名			
連絡先	TEL:	E-mail:	